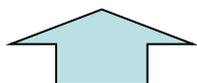


名古屋市(北陸・中部圏ブロック)

【計画期間 21年3月～26年3月】

・江戸時代：名古屋城を中心とする城下町として発展
 ・戦後：中部圏の経済・文化の中核都市として発展

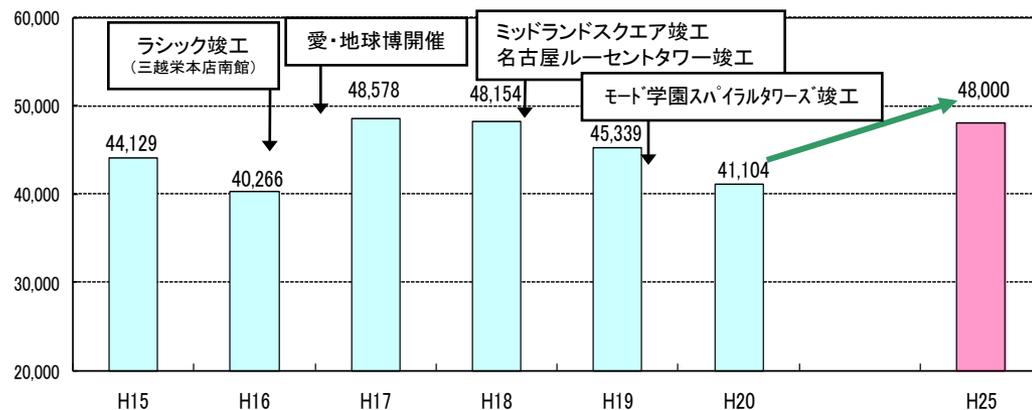
- 名古屋駅地区、栄地区の2核を結ぶ広小路通における回遊性の向上が必要。
- 名古屋駅地区では高層ビルの開発が進む一方で、栄地区の商業核としての拠点性向上が必要。
- 地区ごとの特性を活かし、商業地としての賑わい再生が必要。



- 歩行者通行量(6地点合計値)
 H17: 48,578人 → H20: 41,104人 (▲ 15%)
- 年間商品販売額
 H9: 5,665億円 → H19: 4,916億円 (▲ 13%)
- 主要文化施設利用者数(白川公園地区)
 H14: 1,228,257人 → H19: 993,259人 (▲ 19%)

目標	指標	現況値	目標値(H25)
歩いて楽しい快適な都市環境の形成	歩行者通行量 (平日・休日平均6地点)	41,104人/日 (H20)	48,000人/日
多様な都市機能の集積と充実	主要文化施設 入場者数	993,259人 (H19)	1,201,000人
魅力と賑わいあふれる商業地の形成	年間商品販売額	4,916億円 (H19・推計)	4,921億円

【歩行者通行量[平日休日平均・6地点]の推移と数値目標】



- 歩いて楽しい快適な都市環境の形成
 ⇒ 主要事業：①大須地区商業活性化事業、②堀川の総合整備、納屋橋南地区整備事業
- 高度な利便性を提供できる多様な都市機能の集積と充実
 ⇒ 主要事業：③芸術と科学の杜構想推進事業、④愛知県産業労働センター整備・運営事業
- 魅力と賑わいあふれる商業地の形成
 ⇒ 主要事業：⑤広小路賑わい創出事業、⑥広小路エクスプレスイルミネーションの実施、等

名古屋市中心市街地活性化基本計画の事業概要

歩いて楽しい快適な都市環境の形成

○大須地区商業活性化事業(①)

既存アーケードと地下鉄の結節点である広場を**全天候型の回遊拠点として整備**。商店街ガイドが大須の魅力を情報発信する**商店街案内機能を強化**。

大須ふれあい広場のアーケードを整備



○堀川の総合整備、納屋橋南地区整備事業(②)

堀川護岸の遊歩道や親水広場の整備と併せてカフェ等の商業施設を整備し、うるおいある**都心の水辺空間を創出**。

インテリアショップ、レストラン、カフェ等が入居



○都心主要公園の魅力アップ事業

名古屋を代表する都市公園(100m道路)である若宮大通公園・久屋大通公園で、回遊性の向上を図る**バリアフリー化や新たに多目的広場を整備**。

魅力と賑わいあふれる商業地の形成

○広小路賑わい創出事業(⑤)

平成22年の**広小路生誕350年**を記念し、歴史や魅力の情報発信とともに、歴史を感じさせる街並み演出や市民参加型のイベントを実施。



○広小路エクスプレスイルミネーションの実施(⑥)

毎年11月~1月、広小路通沿線の商店街が連携し、**クリスマスシーズンを中心にイルミネーションを実施**。



多様な都市機能の集積と充実

○芸術と科学の杜構想推進事業(③)

白川公園地区の名古屋市科学館を**改築**。同公園内の名古屋市美術館とも連携して**文化の創造拠点「芸術と科学の杜」**として再整備。

世界最大のプラネタリウムを設置



○愛知県産業労働センター整備・運営事業(④)

中小企業センター、産業貿易館(区域外)、勤労会館(区域外)の**3館の機能を集約し、中小企業の経営・創業支援等の拠点施設を整備**。

多目的ホール、会議室等を含む産業労働支援施設

